

会派の意見

6月定例会を振り返って

市民クラブ

PCR検査体制の拡充と

教育・景気対策などを求める

市民クラブは、年初からの新型コロナウイルス感染症防止策への対応について、岡崎市長および職員の方々の努力に対し敬意を表します。その上で、本会議等で指摘したとおり、市執行部には引き続き、次の対策等に一層努めてもらいたい。

新型コロナウイルスによる感染拡大は、当面抑制されているが、秋以降の第2波への備えとして、県と連携しPCR検査体制などの拡充を求める。また、本市の市立学校は、4月13日から5月25日まで42日間もの一斉臨時休業を強いられたが、この間の学習に遅れが生じないよう、対策を求める。国の持続化給付金の支給枠から

漏れた本市事業者に対する独自の事業者支援給付金制度は、前向きに評価する。今後も引き続き本市事業者の支援策を求める。

保守・中道クラブ

コロナ対策、とさでん交通の方向性、デジタル推進等に言及

本会議の個人質問には、福島、平田、横山の各議員が登壇し、喫緊の課題に対し、それぞれ前進する答弁を引き出しました。それらの質問はその後、各機関の報道や新聞等で取り上げられており、まさに最前線の諸問題に切り込んでいます。また議員報酬削減等に対しては賛否もありますが、早い段階で提案しており、その後も各自危機感を持つて対応しております。県立夜間中学校に関する請願に反対した理由は、文書の一部に本市の行政権限に属さない「県教委の人事権」に踏み込んだ記載があり、市議会が採択することは不適當と判断したものです。

日本共産党

コロナ対策の充実等に全力！

【個人質問】コロナ第2波に備え医療体制強化を要求。妊婦・新生児への支援等、重要な答弁を引き出した。西敷地について、コロナ

禍の下で事業者選定作業がストップしている点を指摘。改めて「緑の広場」とすることを求めた。

【意見書・陳情】学費半額を求める意見書議案、米軍機の低空飛行訓練中止を求める意見書議案を提出。最低賃金の改善と中小企業の支援拡充を求める陳情に賛成討論。【要望】市長・教育長宛てに、国保や学校給食に関する市民の切実な声を踏まえたコロナ対策の要望書を4次にわたり提出。4月以降の休校中の給食提供や事業者支援給付金制度創設などにつながった。

公明党

コロナ禍中の支援策急務

新型コロナウイルス感染症拡大による影響から、家計や見通しのつかない地域経済への支援策が今ほど求められるときはありません。「特別定額給付金」に寄せられる期待感を見てもしかりです。

公明党市議団は、「新しい生活様式」によって変化する課題への対応や支援について、国の2次補正予算を活用した本市独自の支援策が必要であることを積極的に提案しました。結果は、具体的な支援策に結びつくもの、今後の検討に委ねられるものなどさまざまでしたが「その判断でよろしいか」

と市民目線で求めてまいります。

新こうち未来

コロナ不況の企業支援を

旅館・ホテル、運輸、卸売組合等への具体的な支援策を問うも、国の2次補正を受けて予算化とする答弁に終始。10万円の給付金、持続化給付金、アベノマスクいずれも批判が多い中で、市民に喜ばれる施策をと注文。タクシーチケット、中山間地域への光ファイバー、マイナンバーの普及促進の具体案を提起。

清和クラブ

海治甲太郎議員は建設環境常任委員会において、3街路整備事業の事業期間の見直しの必要性を指摘。上下水道局には本庁舎建設による、現経営戦略の修正を求めた。請負工事変更の際には、甲・乙協議による契約の公平性を求めた。

山嶽会

市民の皆さまの声を市政に反映

高橋裕忠議員が質問に立ち、ふるさと納税からコロナウイルス対策まで、市政の課題について質問・提案をさせていただきました。今後も市民の皆さまの声を議会から市政に反映させてまいります。